

寿都町历史文化基本构想

序 文

寿都町には、国指定史跡「旧歌棄佐藤家漁場」及び北海道指定有形文化財「漁場建築佐藤家」が存在します。また、寿都町の歴史や文化に根ざした地域資産も数多く存在しております。

これらの資産は“町の宝”であり、過去から現在、そして未来へと継承していかなくてはならない大切なものですが、過疎化や少子高齢化に伴う人口減少や地域社会の変化、価値観の多様化などにより、少しずつ失われている現実があります。

こうした社会の動向や寿都町を取り巻く地域の課題を踏まえ、産業振興による雇用の創出や交流人口の増加、移住定住の促進等、さまざまな策を講じ“安心して暮らしていけるまち”を目指すとともに、寿都町の貴重な歴史文化資産を一つでも多く、次世代へ受け継いでいくことが重要です。

そのため、地域に存在する歴史文化資産を、文化財指定の有無にかかわらず幅広く捉え、その周辺環境も含め総合的に保存活用する方針を定めた「寿都町歴史文化基本構想」を策定いたしました。

本構想では“寿都らしさを感じるもの”“無くなっては寂しいと感じるもの”などを町民の皆さんと一緒に考え、それらを産業や観光、教育等へ活用し“まちづくり”につなげていくものであります。

寿都町の豊かな自然や歴史・文化、さらにはこの町で暮らす人々、すべてが“まちづくり”を進める大切な地域の宝であり、それらを身近に感じ、守り、活かすことで愛郷心を育み“歴史を活かしたまちづくり”を推進したいと考えています。

最後に、本構想の策定にあたり、ご指導、ご協力をいただきました寿都町歴史文化基本構想策定委員、策定調査委員の皆様をはじめ、関係機関の皆様にも多大なご尽力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。



平成30年3月

寿都町長 片岡 春雄

目次・構成

第1章 構想策定の目的と位置づけ	1
1 構想策定の背景と目的	1
2 構想の位置づけ	2
3 構想策定の体制	4
4 構想策定の経緯	4
第2章 寿都町の概要	5
1 寿都町の自然的環境	5
2 寿都町の歴史	7
3 寿都町の社会的環境	10
第3章 寿都町の歴史文化の特徴と歴史文化資産把握の方針	18
1 歴史文化資産把握の方針	18
2 寿都町の歴史文化資産	20
3 これまでの歴史文化資産調査	21
4 寿都町の歴史文化の特徴	27
5 歴史文化資産の保存活用に関する課題	34
第4章 歴史文化資産保存活用の基本方針	36
1 基本理念	36
2 基本方針	36
3 具体方策	38
第5章 関連文化財群	41
1 関連文化財群の考え方	41
2 関連文化財群の認定	42
第6章 歴史文化保存活用区域及び保存活用計画の考え方	53
1 歴史文化保存活用区域の考え方	53
2 保存活用計画の考え方	53

第7章 歴史文化資産の保存活用を推進するための体制整備	54
1 「寿都のお宝」(歴史文化資産)の保存活用を推進するための体制	54
2 各組織の取組	54
第8章 課題と今後の展開	55
1 町民への構想の周知	55
2 定期的な構想の見直しと改訂	55
3 継続的な活動や取組展開を担保する仕組みの検討	55
参考資料	56
資料1 寿都町歴史文化基本構想策定委員会設置要綱	
資料2 寿都町歴史文化基本構想策定委員及び調査委員名簿	
資料3 寿都町歴史文化基本構想策定委員会及び調査委員勉強会開催経過	
資料4 寿都町歴史文化基本構想策定に向けたアンケート調査票	
資料5 寿都町歴史文化基本構想策定に向けたアンケート調査結果	
資料6 歴史文化資産マップ	
資料7 これまでの調査研究文献	
資料8 歴史文化資産リスト	